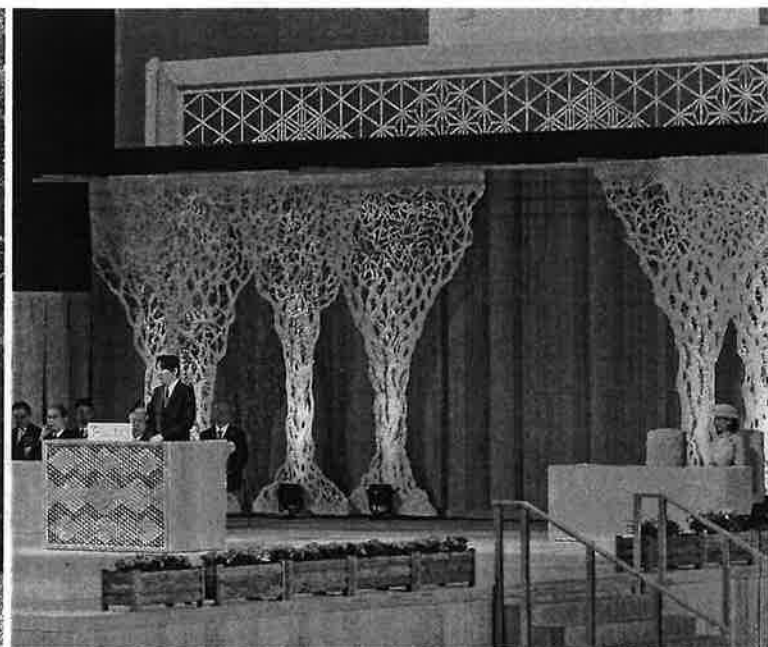


若越の林業



2024 **12** No. 752

第47回全国育樹祭が令和6年10月19日(土)より行われ、お手入れ行事、式典行事をはじめとして、併催行事として育林交流集会および全国緑の少年団活動発表大会が、記念行事として森林・林業・環境機械展示実演会が、それぞれ県内の会場で開催されました。

(森づくり課 全国植樹祭室)

FUKUI 2024
第47回 **全国育樹祭**
育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

林業ニュース Big3 -2024-

第47回全国育樹祭 開催

10月に秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を賜り、一乗谷朝倉氏遺跡で「お手入れ行事」を、サンドーム福井で「式典行事」を行ったほか、県内3会場で併催行事・記念行事を開催し、県内外から約24,000人の方に御参加いただきました。

お手入れ行事では、「第60回全国植樹祭」で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたアカマツとスダジイに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ（枝打ち・施肥）が行われました。

式典行事では、全国の林業関係者や緑化活動に携わる団体などに参加いただき、皇嗣殿下のお言葉を賜ったほか、フィナーレでは大会テーマソングの大合唱で盛り上がり、会場は一体感に包まれました。

本全国育樹祭の開催を契機として「木を伐って使い、植え育てる」取り組みを一層推進し、美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさとを次の世代に引き継いでいきます。（森づくり課 全国育樹祭室）



県内初の大型コンテナ苗生産施設が稼働!!

県では、効率的な主伐の集約化と適切な再造林を進める「ふくい型林業経営モデル」を推進するとともに、主伐の推進に伴い増加する苗木の需要に対応するため、植栽時のコストや労働負荷の低減が期待できるコンテナ苗の生産施設等の整備を支援しています。

9月末日、坂井森林組合が県内初となる環境制御システムを導入した大型コンテナ苗生産施設「Wood Nursery SAKAI（ウッドナーサリーサカイ）」を整備し、その竣工式が行われました。

本施設は、ハウス内の温度や湿度等の生育環境を制御することで一年を通じた種子の発芽、育苗を可能とするほか、出荷までの期間をこれまでの半分の1年程度に短縮することが可能で、3年後をめどに年間10万本の花粉の少ないスギコンテナ苗の出荷を目指しています。

来年秋に初出荷を予定する本施設が、苗木生産の一大拠点として安定供給に寄与することを期待しています（詳細については、管内だよりをご覧ください）。

また、今年11月には、一乗樹木苗生産組合により少花粉スギコンテナ苗の初出荷が行われ、県内の苗木の供給体制が少しずつ整えられてきています。（県産材活用課 ふくい型林業グループ）



坂井森林組合坂井組合長によるご挨拶

県有林におけるJ-クレジット制度の活用について

森林吸収クレジット（J-クレジット）は、森林管理等の活動により達成された温室効果ガスの吸収量を国が認証し、「クレジット」として発行する制度です。県では、県有林を対象に、三井物産株式会社との共同により、航空レーザーデータを活用した効率的なJ-クレジット創出に向け、令和7年度プロジェクト登録を目指しています。

地球温暖化や脱炭素社会への関心が高まる中、企業等からのカーボン・オフセットの需要は、今後ますます増加していくものと予想されます。「森林由来」のクレジットの地産地消を進めていくことで、多くの方々へ森林の価値や森林整備の推進に関心をもっていただくきっかけに繋がっていきたいと考えています。



間伐後の県有林

（県産材活用課 公有林グループ）

少花粉スギを生産するコンテナ苗生産施設稼働

主伐・再造林の推進に伴う苗木需要に対応するため、坂井森林組合が県内初となるコンテナ苗の大規模生産施設をあわら市牛山に整備し、9月30日に竣工を迎えました。施設名は「Wood Nursery SAKAI (ウッドナーサリー サカイ)」、今後、年間10万本の山行苗木生産を目標としています。

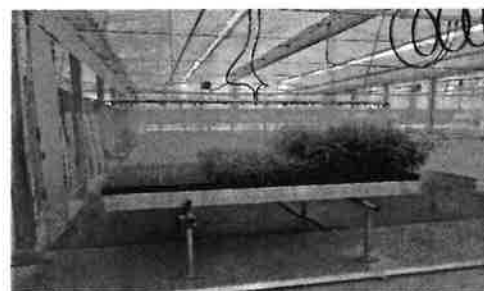
施設の特徴として、通年生産可能となる環境制御システムを導入し、苗木生産の効率化・省力化を図っています。これまで春季にしか出来なかった芽出し作業を温度・湿度の制御により周年行える発芽庫を整備したことで、通常2年かかる苗木生産が約1年に短縮できるようになりました。また、ハウス内はコンピューターによる自動監視機能により、遮光カーテンの開閉による温度調節や換気、加温、散水、薬剤散布も自動的に行われます。併せて苗の状態は画像により判断できるため、病害虫発生などの問題発生時も専門施設に速やかに相談でき、診断や対処の指導を受けることも可能となっています。

コンテナの移動は、圃場内を自由に移動させること

ができる高さ約1mのムービングベンチを採用しており、苗木を乗せると1ベンチ当たり250kgを超える重さとなるベンチも1人で楽に移動することができます。また、これにより定植・収穫の作業も1箇所でするようになりました。屋内には66ベンチ、屋外には72ベンチを備え、最大約15万本のコンテナ苗を収納することができます。

今後、花粉発生源対策となる少花粉苗木を中心に苗木生産がここ坂井の地で行われ皆伐跡地に植栽されることにより、森林資源の循環利用に繋がることを期待します。

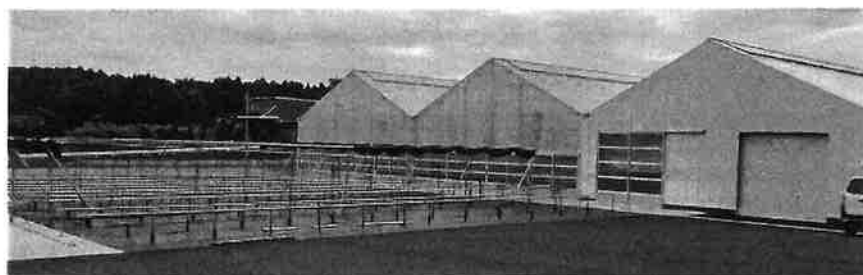
(坂井農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課)



▲ 散水の様子



▲ 竣工式



▲ ウッドナーサリー サカイ

山林協会だより

国会議員、林野庁への要望活動を実施

森林整備、木材産業、治山・林道事業促進に向け、県森連、県木連と合同で県選出参議院議員（山崎、滝波）、比例全国区参議院議員（山谷、進藤、安藤）、林野庁幹部（長官、次長、担当課長）に対し10月16日、17日の両日にかけて要望活動を実施しました。

森林管理や皆伐・再造林への支援、木材製品の使用促進、国土強靱化に向けた災害に強い国土づくり、林道路網の強度化等に話題が集中しました。

今後、財務省にも働きかけ、森林・林業に関する予算獲得に向けた活動を積極的に展開して行きます。



▲ 要望活動

令和6年度 ふくい県産材利用推進功労者知事表彰

県では、平成29年度に施行した「みんなでつかおう「ふくいの木」促進条例」に基づき、県産材を使用する意欲の向上を図り、更なる需要を拡大するため、県産材を積極的に加工、供給または利用し、県産材の利用推進に貢献した企業、団体を表彰しています。

令和6年度は下記の2団体が受賞し、令和6年12月2日(月)に開催された福井県農林漁業関係表彰式において表彰されましたのでご紹介します。

知事賞

有限会社 平田木材店 (高浜町)

自社で製材から建築まで一貫して手掛け、天然乾燥により木の色味や香りを活かしており、また自社で製作した多彩な製品をショールームやネットで販売をされています。

さらに、地元の保育園、小学校を対象に製材工場の見学会や、木の良さ等についてHPや情報誌等による情報発信を行われています。

他にも台湾に製材品の輸出(約60㎡)を行っています。



施工物件



授賞式の様子



事務所内装の木質化

知事賞

社会福祉法人 めぐみこども園 (福井市)

木育ルーム・デスク・園児用机・椅子・本棚・遊具等の木製品導入を積極的に行っています。

また、こどもたちに木製品の手入れを経験させて、木のぬくもりや物を大切にするとしたこと、県内の木を使ったおもちゃで遊ばせる等の木育カリキュラムを実施しています。



木育状況



授賞式の様子



木育ルーム

(県産材活用課 ふくいの木利用室)

林業を頑張っている人



くによし かずみ
國吉 一實 さん

自然環境や文化、人との関わりを常に大事にしながら、新しい仕組みづくりや事業を笑顔でチャレンジする國吉さんをご紹介します。

勝山市生まれの55歳。県外の大学を卒業後、商社勤務を経て26歳でUターンし、九頭竜森林組合で地域の森林整備に長年携わってこられました。

現在は、弟の成典さんと素材生産や森林整備等を請け負う「株式会社モリトミ」を経営されており、今年度は林野庁の林業労働安全確保対策事業を活用し、デジタル無線機と電動特殊クサビ等を整備。10月25日には池田町魚見で安全衛生装備・装置などに関する研修会を開催し、県内の林業関係者約30名に対し、林業労働安全に対する意識向上を図りました。

また、2,400ヘクタールの森林を所有する「小原生産森林組合」の組合長として主伐・再造林等をすすめ、循環型の林業経営を行うとともに、赤兎山や大長山への登山道を有することから、登山者から環境協力金を徴収する仕組みを導入し、登山道整備や看板設置などの活動も行っています。

森林整備に尽力する一方で、「小原ECOプロジェクト」の代表として勝山市北谷町小原集落の地域再生や希少植物であるミチノクフクジュソウの保全活動等を地元小学生や大学生、行政機関等と連携して取り組まれています。

今後は環境省事業を活用して、他県の保全地域との情報交換や、一般の方を対象とした講習会の開催など、さらなる保全活動の拡大を進められる予定です。

様々な森林保全活動に取り組まれている國吉さんが今後もますますご活躍されることを期待し、応援していきます。

(奥越農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課)



安全衛生装備・装置などに関する研修会開催



ミチノクフクジュソウ保全活動開催



緑推だより

「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集」を実施しました

【開催趣旨】当委員会では、「緑の募金」活動、さらには各種緑化事業の普及啓発を図るため、本年度も、県内の小・中・高等学校を対象に緑化・育樹運動ポスター原画の募集を行いました。応募総数61点を審査した結果、受賞者は下記のとおりとなりました。

- | | | | | |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 【特選】 | 伊藤 優杏 (今富小2) | 春川 天音 (今富小6) | 畑 澄志朗 (万葉中2) | |
| 【秀作】 | 田なべこと (今富小2) | 平井 桜彩 (加斗小6) | 坂本 晴彦 (内浦小5) | 田中 遼馬 (内浦小6) |
| | 高島 海那 (安居中2) | 廣濱 玲奈 (桑中2) | 加藤 珠凪 (万葉中2) | 東川 桃 (万葉中2) |
| 【佳作】 | 大下 光優 (今富小2) | 藤本 千夏 (今富小3) | 森本 楓 (今富小6) | 木橋 海遥 (加斗小6) |
| | 田中 琉愛 (加斗小6) | 丹羽すみれ (安居中1) | 濱内 葉仁 (桑中2) | 國平 彩音 (南越中1) |
| | 前田 俱花 (南越中1) | 若泉 心遥 (南越中1) | | |

((公社)福井県緑化推進委員会)



「第64回治山研究発表会」で最優秀賞受賞

令和6年9月10日11日、東京都で開催された「第64回治山研究発表会」において、本県職員が最優秀賞を受賞しました。

この発表会は、治山研究発表会・治山シンポジウム実行委員会（構成団体：林野庁、森林総合研究所 他）が、治山の技術向上、森林の保全に関する科学技術の振興及び保安林制度等の円滑な推進を図り、国土の保全、水質源の涵養等に寄与することを目的として、毎年開催しております。

今年度は全国から51団体が発表し、その発表内容ごとに4つのセクションに分かれてそれぞれ最優秀賞が選ばれており、本県職員の最優秀賞は平成17年度以来19年ぶりです。受賞者および発表内容は下記の通りです。

1 受賞者

丹南農林総合事務所 林業部 事業課 主事 高木 智仁
嶺南振興局 林業水産部 林業事業課 主事 谷口 雄哉

2 今回受賞した発表概要

- ・発表セクション 調査・設計・計画策定時等における取組
- ・発表テーマ「森林クラウドシステムの活用可能性の検討について」
- ・発表内容

航空レーザ計測データを活用して、山地災害リスクの高い過密林分を効率的に把握する手法を検証（データで確認された過密林分の現地調査をあわせて実施し、妥当性を確認）



▲ 発表会場および発表状況

（森づくり課 森林保全グループ）

森林・林業・木材を学ぶ研修会、講習会情報

今回ご紹介する研修会、講習会はございません。

今年次の研修会、講習会にご協力いただき誠にありがとうございました。

1月以降も引き続きご参加いただきますようお願いいたします。





県森連だより

森林・林業・木材産業活性化大会 開催

第45回 森林・林業・木材産業活性化大会（主催：福井県森林組合連合会・福井県木材組合連合会・福井県山林協会）が、去る10月28日に関係者約300人の参加のもと、福井市の福井商工会議所ビルのコンベンションホールにて開催されました。

最初に、大会委員長である県森連 坂東秀夫会長より挨拶。続いて、驚頭副知事ならびに滝波参議院議員からご祝辞をいただいた他、多数の来賓の方々からご祝辞をいただきました。

議事では、坂井森林組合 坂井幹夫組合長および福井県木材組合連合会 岡田一則理事より、下記のとおり提案があり、満場一致で可決採択されました。



驚頭副知事によるご祝辞

1. 新たなステージ 主伐・再造林の積極的な推進に向けて

①森林整備関連予算の安定的な確保について②再造林後の支援措置と苗木生産体制の確立及び獣害対策について③路網の整備について④担い手の確保・育成について⑤高性能林業機械導入支援について⑥森林航空レーザー計測の早期実現と林業DXに必要な環境整備について⑦「J-クレジット」の普及・推進について⑧大型加工施設の誘致について

2. グリーン成長の実現に向けた県産材の利用拡大について

①県内の住宅はもとより公共建築物等、非住宅部門での県産材活用について②県外、特に都市部への「ふくいの木」PRと県産材の需要拡大について③木材利用を促進することは、循環し続ける物づくり・社会・自然・地球を実現するSDGsとグリーン成長のために、今すぐに取り組める最も重要で緊急な課題

これら決議事項の達成のため、関係団体が一丸となって国・県・市町の政策支援を求めつつ、主伐・再造林等森林整備の実行と県産材の利活用を推進していきたいと考えています。（福井県森林組合連合会）

リモートセンシング技術とGISで
森林管理の高度化を
実現します。

- 境界明確化
- 森林量の把握
- 樹高などの計測

PASCO
Surveying the Earth to Create the Future

株式会社パスコ 〒910-0005
福井県福井市大手3-1-13 大手門ビル6F
福井支店 TEL: 0776-25-7427 / www.pasco.co.jp

株式会社ジツタは全国の森林組合様の業務に特化したシステムを開発し続けています

jitsuta

- ・スマホとGNSS受信機、レーザーコンパスと連動して簡単測量
- ・ドローンで撮った写真から造林補助申請図面の作成や山の材積推定
- ・GIS機能の付いた森林測量管理ソフトの決定版Assist7
- ・音声と画像認識を採用した木材検収アプリ

株式会社ジツタ 〒790-0964 愛媛県松山市中村二丁目8番1号
TEL 089-931-7175 FAX 089-934-7701 URL <https://www.jitsuta.co.jp>

TOYOTA L&F
トヨタ L & F 福井株式会社

ロジスティクス & フォークリフト
あなたの物流ニーズにお応えします。

〒918-8152 福井県福井市今市町第38号10番地
TEL / 0776-38-0018 FAX / 0776-38-4566

草刈機・チェンソー・
レバーブロック・チルホール・
ワイヤーロープ・各種機械修理



福井機互

〒918-8239 福井市成和1丁目3204
TEL(0776)26-7411 FAX(0776)26-7415



Nakajima Kenki

- 建設機械・舗装機械・除雪機械
- 高性能林業機械
- フォークリフト
- 各種 販売・整備・レンタル

高性能林業機械の販売・整備・レンタル

株式会社中島建機

〒福井市下六条町35号25番地1
☎ 0776-41-0115
☎ 0776-41-0775



松枯れ予防
樹幹注入剤

**マッケンジー
ランテクター**

ニホンジカ専用忌避剤
卵から生まれた忌避剤が樹木をニホンジカの食害から守る

大同商事株式会社

本社 東京都港区浜松町1丁目10番8号(野田ビル)
〒105-0013 電話03(5470)8491
FAX03(5470)8495

大阪営業所 大阪府吹田市豊津町36-2-101
〒564-0051 電話06(6384)1288(代表)

Leasing Our Passion

私たちは金融の枠組みを超えて、
お客様の思い描くビジネスの将来を、
ともに見つけ、育み、実現することに挑戦し続けます。
より良い社会と未来のために。

JA三井リース株式会社

(金沢支店) 〒920-0869 金沢市上堤町1-12 金沢南町ビルディング
TEL : 076-221-5121 FAX : 076-221-2346

“森林づくりのお手伝い”

【営業品目】
肥料、農業、森林除草剤、農林業資材、農業土木

**日栄商事株式会社
福井支店**

〒918-8231 福井市問屋町4丁目1104番地
TEL (0776) 24-1217 (代)
FAX (0776) 24-1202 番



事業内容

- ・基幹業務システム導入
- ・ソフトウェア受託開発
- ・ITインフラ構築
- ・スマートデバイス、XR向けアプリ開発
- ・WEBサイト企画構築
- ・各種保守サービス

株式会社 ビジュアルソフト

【本社】 福井市八重巻町314番地
TEL.0776-56-3636(代表)
FAX.0776-56-3672

【ソリューションセンター】 福井市定正町807番地
TEL.0776-56-3658
FAX.0776-56-3673

営業所
・東京営業所
・名古屋営業所
・金沢営業所

URL : <https://www.vss.co.jp>

海外旅行・国内旅行・旅行企画・JR切符・航空券・
バス・ホテル・旅館の手配

SUKA TRAVEL AGENCY
(有) アスカ トラベル

〒910-0016 福井市大宮4丁目10-17
芦原街道沿い

TEL (0776) 29-0012
FAX (0776) 29-0023